

公開保育と聞いて、入園を考えておられるお母さんから参加したいとお尋ねがあり、保育者の研究会で一般の方に公開するという意味合いの会ではないからとお断りました。確かに施設や設備は園内をご案内すればたちどころにわかるのですが、保育のいちいちの内容はわからないですよ。6月から始めている懇談で、以上児の場合ならばAタイプにお申し込みいただくと、1日をどのように過ごしているのかをおおよそ知っていただけるかと思います。お子様がどんな友達と遊んでいるのか、どのようにして自分の居場所を見つけているのか、どんなことに興味を持っているのかといった情報は聞くよりも見るが易しがごとくです。ちなみに1階の各クラスにはAタイプの懇談は用意していません。以上児のAタイプように午前中の保育から見学いただくことももちろん可能なのですが、友だちのお母さんやお父さんの顔を見ると自分のお母さんやお父さんの事を思い出し、つつい泣いてしまうお年頃のためご遠慮いただいています。

さて12月の公開保育で公開するのはその日常の保育です。保育者がどのように動き、どのように子どもと関わり、どのように保育者同士の連携を保っているのかという姿を色々な園の保育者が観察し、評価し、より良い保育を目指し学びあいます。その日だけの特別なプログラムを用意したり、その日用に準備する小道具などありません。

特に今回は乳児の3クラスを公開します。ご案内したところ36人もの申し込みをいただきました。お部屋の中に入っただけなのは4人から5人程度ですから多くの方はお部屋の外からということになります。

私たちは公開保育にこられたお客様に、どのようにごらんいただくと私たちが目指している方向がよりよく知ることができるのかというオリエンテーションをさせていただきます。そして、一人の保育者をごらんいただくか、一人の子どもをごらんいただくか、いずれにしても一人を追ってごらんくださいとお勧めします。私どもが提唱している「ゆるやかな育児担当性による乳児保育」は子ども集団をどのように動かすかというのではなく、一人一人にどのように寄り添うかということがテーマになっているからです。

0歳のクラスには12人の子どもたちに4人から5人の保育者が保育にあたっています。すでに12月半ば、1歳の誕生を迎えた子どもも多く、どの子どもも活発に行動します。一人一人がそれぞれ思い通りに行動し、同じ事をしている子はいません。午後3時頃の保育室をのぞけば、ベッドで午睡している子、何かを思い出して泣いている子、おやつを食べている子、ごろんごろんと体を動かしている子、寝転がっておもちゃで遊んでいる子、よちよち歩きしてる子などバラバラです。いわばバラバラが0歳のクラスなのです。それは見方を変えれば一人一人の動きを保証する空間がどのように準備されているかと言うことでもあります。

自分の動きを保証してくれる空間に信頼し、その場を提供してくれている大人をも信頼します。子そだて、子そだちはこの信頼をなくしては始まりません。

「信頼」は人格を形成する上で無くてはならないものです。私たちは子どもと大人との信頼関係をアタッチメントという言葉で表します。基本的信頼関係とか愛着理論とか色々言葉があるのですが、機械の本体と付属品とをくっつける小さな部品をアタッチメントといいますね。子どもと大人。どちらが本体でどちらが部品？などと言うことでなく、人と人との結びつきのことですね。絆という言葉でもいいですね。

そのアタッチメントがとても大切なのです。子どもはアタッチメントをいつも求めています。いっぱいになってあふれ出てしまう事がないのです。もっといえば人はいつもアタッチメントを求めているのです。

このように言うと、きっと0歳の赤ちゃんの頃はとても素朴な求め方をして、成長するに従って複雑になるに違いないとお思いかもしれませんが。でも赤ちゃんも非常に複雑な心の動きがあるのだと心理学会などで研究者から発表されています。あなどるなかれです。子どもの心は大人と同じように複雑なのです。

私も今の自分の表情を創り出している自らの心の奥底にひそむモノが何であるかわかりません。仏教ではこのような心の動きを「唯識」という学びの道で極めようとしています。

しかし、自分の心も覗けぬ私が、なんで人の心がわかってとあきらめてしまっはいけません。わかってとずる心だけが信頼を、絆を創っていくのですから。

この時期気をつけたいのが、ノロウイルスやロタウイルスなどに感染して起こる『**ウイルス性胃腸炎**』。感染すると嘔吐と、水のようなひどい下痢が起こります。高熱はあまり出ませんが、嘔吐や下痢で体内の水分が多く失われ、脱水症になると危険です。何よりもまず水分補給を心がけ、安静にして過ごしましょう。また、何度も吐き続けるときは、吐いたものが気管に入らないように、上体を起こすか、顔を横に向けて寝かせてあげてください。

嘔吐物の処理

冬場に流行するウイルス性胃腸炎は、ノロウイルスやロタウイルスなどによって感染します。家庭でも二次感染予防のために、嘔吐物の処理にご留意ください。

- ①窓を開けて使い捨ての手袋とマスクを着け、使い捨ての布などで嘔吐物を周囲から拭き取る。
- ②**次亜塩素酸ナトリウム（塩素系漂白剤）を薄めた消毒液**で、嘔吐物のあった部分を再度拭く。
- ③汚れたものはすべてポリ袋に入れ、それらは、消毒液をかけてから密封して捨てる。
- ④嘔吐物のついた服は、85℃以上の熱湯に1分間つけてから洗濯する。
- ⑤処理・片付け終了後は、手洗い・うがいをいつもより念入りに。
- ⑥また、汚れていなくても処理をした人も着替えるのが望ましい。
- ⑦さらに乾燥機にかけたり、アイロンをかけたりすると、熱に弱いノロウイルスは死滅しやすい。

※お願い※

ウイルス性胃腸炎の場合、園では、**集団感染を防ぐため、嘔吐や下痢で汚れた衣類を園内で洗濯しない**、と岐阜市で決められています。園での急な嘔吐・下痢は、ウイルス性の胃腸炎からくるものなのかどうかを判断できないため、**汚れたままの衣類を家庭に持ち帰ることがある**と思いますが、ご理解願います。

今月の行事予定

- 1日 **異文化交流 ECC**
- 2日 **検診の事前調査票配布**
- 5日 **発表会総練習**
- 6日 **公開保育(乳児クラス)**
- 8日 **歯科健診**
- 10日 **おあそび発表会**
- 12日 **祖父母参観**
- 14日・15日 **発育測定**
- 16日 **かみいしづこどもの森
との交流会**
- 22日 **クリスマス会**
- 27日 **避難訓練**
- 28日 **保育おさめ**

11月25日の昼下がり長良西小の6年生の子たちが園の年長組を尋ねてきてくれました。劇遊びや手品のテーブルなど6つのグループに分かれて本当に楽しいひとときをプレゼントしていただきました。



そこで、今度は長良西小の6年生を尋ねて小学校訪問をすることとなりました。どうやら「小学校を探検」することになりそうです。年長の子たちはその日を楽しみにしています。来春に向けて色々な準備がすすみます。